



日本防災士会広島県支部会報



第20号 平成21年6月22日

日本防災士会広島県支部活動報告

【広島県土砂災害防止県民の集い】

広島県は「土砂災害防止県民の集い」を土砂災害に関する防災知識の普及・啓発を目的として、県内の地方自治体と主催して毎年開催しています。

今年度は広島市と主催し、基調講演、参加機関の事業紹介、パネルディスカッションの3部構成の講演会と、土砂災害防止に関するパネル展示等を行い、防災関係者や一般市民など約500名の参加がありました。

広島県支部は、広島県・広島市が開催する事業の、はじめての後援事業として参加しました。



パネル展で活動紹介する横田防災士

【パネル展】

日時：6月2日(火)10時～5日20時

場所：西区民文化センター

横田防災士を中心に4日間支部会員の協力を得て、多くの住民の方々に、広島県支部の活動を知っていただくことが出来ました。

展示内容としては、「昭和20年9月枕崎台風による、江田島切串での土石流・水害の記録」「広島市内ハザードマップ」「平成11年6月29日の被災体験MAP」を掲示して、来場者へ解説しました。



平成11年6月29日あなたはどのようにしていましたが

【第9回広島県支部勉強会】

日時：6月5日(金)12時

場所：西区民文化センター

内容：「広島県土砂災害防止県民の集い」

参加者：箱上支部長、吉田副支部長、今井、松浦、大河原、横田中嶋泰、中嶋瑞紀、山田、渡邊、宮崎、宮本防災士

広島県土木局長と広島市道路交通局長の挨拶の後、広島大学大学院土田孝教授から「広島県における土砂災害発生メカニズムと斜面の危険度予測」と題して、広島県が全国的にも土砂災害危険箇所が多い理由と最新の研究成果について基調講演されました。

次に、中国地方整備局太田川河川事務所長から「広島西部山系直轄砂防事業の紹介」、広島県土木局土木整備部砂防課長から「土砂災害に対する広島県の取り組みについて」が紹介されました。

広島県危機管理監危機管理課からは、今年3月に制定・施行された「広島県防災対策基本条例」で6月29日を「ひろしま防災の日」に定め、「防災、減災、備えんさい！」をキーワードに県民の防災意識の向上と、災害への備えを進める取り組みについて紹介されました。

パネルディスカッションは「平成11年6月29日土砂災害から10年 - 土砂災害への備えを考えよう -」をテーマに、土田教授がコーディネイターを務められ、気象予報士 玖保陽子氏、安佐南区自主防災連合会会長 原田照美氏、広島県生活協同組合連合会専務理事 岡村信秀氏、広島県土木局土木整備部砂防課長蒲原潤一



多くの意見を頂きました。



江田島切串 土砂・水害写真展

氏の4名をパネラーに招き、自助、共助、公助の立場からそれぞれの活動状況について紹介されました。

パネラーからは、災害の記憶を風化させないために、広島での豪雨災害の歴史を語り継いでいくこと。

また、気象災害への備えとして、日頃から地域やコミュニティーを通じて信頼関係を築き、災害の発生が見込まれる時には、適切な避難行動が取れるように地域防災力を高めておくことが必要であることが話されました。

会場からも、地域防災に関する現状報告や過疎地での防災活動の助言を求める質問があるなど、活発な意見交換が行われ議論が深められました。

広島県土砂災害防止県民の集いに参加するにあたり、本部からは、パネル・マスコット・パンフレットの提供をいただきました。紙面を借りてお礼申し上げます。

【今後の予定】

7月 8日(水)【第11回広島県支部勉強会】

18:30~19:30 NPO 法人健康危機管理協会講演会・交流会

演題：海上自衛隊衛生組織の概要

講師：堂本英治氏(海上自衛隊 呉衛生隊長)

場所：幟会館2F(広島市中区八丁堀3-1)

7月 9日(木)【第12回広島県支部勉強会】

14:30~17:00 中国地方防災研究会 平成21年度第1回講演会

6.29~土砂災害による犠牲者ゼロをめざして~
広島土砂災害から10年

場所：広島YMCA国際文化ホール(中区八丁堀7-11)

講演：「6.29 広島土砂災害から10年を経て」

海堀正博 広島大学総合科学研究科准教授

講演：「犠牲者ゼロをめざして」

中野泰雄 国土交通省砂防部長

8月21日(金)東広島市総合防災訓練

13:30~15:30 東広島市黒瀬学園台555-36

広島国際大学 東広島キャンパス

8月28日(金)広島市総合防災訓練 広島市安芸区瀬野西一丁目

14:00~16:00 第一会場 瀬野第二小学校(仮称)

第二会場 瀬野小学校

9月 6日(日) 江波山気象館 防災の日イベント 広島県支部 共催

10:00~16:00 身近にある物を使った応急手当・防災紙芝居

9月 6日(日) 安佐北区防災フェア

10:00~12:00 広島市安佐北区白木町大字秋山1188番地

広島市立高南小学校

広島市安佐北区白木町大字秋山1210番地

広島県立白木高等学校

実施内容

- ・初期消火訓練 ・人命検索、救助訓練
- ・自主防災会の要援護者搬送訓練
- ・地元幼稚園児、中高生によるパレードと放水訓練
- ・心肺蘇生報、AED取扱い等
- ・地震、土砂災害危険図展示
- ・消防音楽隊ドリル演奏 ・消防団ポンプ操法、一斉放水
- ・災害用伝言ダイヤル171、iモード伝言板展示

【NTT西日本からのお知らせ】

災害時以外にも、災害用伝言ダイヤル(171)をご体験いただけるように「体験利用日」を設定しています。

是非、家族・親戚・友人間で体験していただきますようにお願いします。

【体験利用日】1. 毎月1日0:00~24:00 2. 正月三が日 1月 1日 0:00~1月 3日 24:00

3. 防災週間 8月30日 9:00~9月 5日 17:00

4. 防災とボランティア週間 1月15日 9:00~1月21日 17:00



江田島切串土砂災害体験紙芝居



土田教授の基調講演



パネルディスカッションで講演する玖保予報士

自然災害

最近は予知できる可能性の高い地震、予測できる風水害や火山活動が話題になっています。大地震は津波、家屋の倒壊、火災、洪水、山崩れ、液化現象など各種の災害を併発します。大災害では、電気、水道、ガス、電話などのライフラインの中断も想定されます。

- (1) 情勢判断 第一に心を落ちつけ、災害の状況、現在の位置、状態を冷静に判断しましょう。
- (2) 意思決定 どうしたならもっとも安全か、いま何をなすべきかを見極め、行動する。
- (3) 二次事故(災害) 二次事故を予見し、巻き込まれないようにする。
- (4) 整備 服装や身の回りを整え、準備を進めて、避難や救護活動に対応できるようにする。
- (5) 日常の準備 危険箇所のチェック。 避難場所の確認。
防災計画 避難計画。 非常持ち出し品の整備。
非常時の連絡方法の徹底。 各自の役割分担、定期的な訓練。
- (6) 個人の行動と集団の安全 個人の過った判断などが集団災害のもとになる。
- (7) 過小や過大判断の危険性をしておく
- (8) 避難時の考えかた 物品に執着しない。
- (9) 正確な情報の収集と分析 (デマに迷わない)
- (10) 救護活動への参加、協力。

大地震の際の心得

あわてて外に飛び出さず丈夫な家具などに身をよせる。(家具、冷蔵庫、テレビなど固定する)

火が出たら、揺れが収まったところで消火する。(ガスの元栓)

避難する時は電気のブレーカーをおとす。(復旧したとき火事の原因になりやすい)

避難は歩いて、荷物は最小限に。 海岸では津波、低地では浸水に注意する。

狭い路地、塀ぎわ、がけ、川べりに近寄らない。 がけ崩れに注意する。

避難の際の心得

- (1) 避難に際して 身軽に、しっかりした靴、手袋、防寒、保温具、カップ、特に頭を保護する。
- (2) 非常持ち出し品 お金(小銭も) 証書 健康保健証 通帳、印鑑 ホイッスル(笛)など。
- (3) 水、食料(塩も)、下着類、身の回り品、緊急用品。(応急手当の用品や常備薬など)

非常食の条件 軽く携帯に便利でそのまま食べれ、すぐにエネルギーになり、保存性が良い物。

例 練乳(チューブ)、ハチミツ(チューブ)、マヨネーズ、氷砂糖、チョコ、ビスケット、固形のブドウ糖、
など等 カロリーの高い物が良い。塩分補給も忘れずに!! ゴマ塩(小袋入り)、塩コンブなど等。

病院から薬が出てる場合は、必ず持っていく。(病院にかかれぬ場合が多い)

入れ歯は絶対に忘れず。(食事ができない)

小銭は自動販売機を利用する時に便利。(お札は釣銭が無くなれば使えない)

- (4) その他 ローソク、マッチ、懐中電灯、ラジオ、雨具、オムツなど家族に応じて用意する。
- (5) 携帯電話も役に立つ。(手動充電器が便利) 電気製品は必ず替えの電池も!

以上の物をリュックサックなどに詰めて、両手を使えるようにしておく。

自然災害

最近は予知できる可能性の高い地震、予測できる風水害や火山活動が話題になっています。

大地震は津波、家屋の倒壊、火災、洪水、山崩れ、液化現象など各種の災害を併発します。

大災害では、電気、水道、ガス、電話などのライフラインの中断も想定されます。

大地震の際の心得

あわてて外に飛び出さず丈夫な家具などに身をよせる（家具、冷蔵庫、テレビなど固定する）

火が出たら、揺れが収まったところで消火する。（ガスの元栓）

避難する時は電気のブレーカーをおとす。（復旧したとき火事の原因になりやすい）

避難は歩いて、荷物は最小限に。 海岸では津波、低地では浸水に注意する。

狭い路地、塀ぎわ、がけ、川べりに近寄らない。 がけ崩れに注意する。

避難の際の心得

- （１） 避難に際して身軽に、しっかりした靴、手袋、防寒、保温具、カッパ、特に頭を保護する。
- （２） 非常持ち出し品 お金（小銭も） 証書 健康保健証 通帳、印鑑 ホイッスル（笛）など。
- （３） 水、食料（塩も）、下着類、身の回り品、緊急用品。（応急手当の用品や常備薬など）

非常食の条件

軽く携帯に便利でそのまま食べられ、すぐにエネルギーになり、保存性が良い物。

例 練乳（チューブ） ハチミツ（チューブ） マヨネーズ、氷砂糖、チョコ、ビスケット、固形のブドウ糖（薬局などで販売） など等 カロリーの高い物が良い。

塩分補給も忘れずに！！ ゴマ塩（小袋入り） 塩コンブなど等。

病院から薬が出てる場合は、必ず持っていく。（病院にかかれないうちが多い）

入れ歯は絶対に忘れずに。（食事ができない）

小銭は自動販売機を利用する時に便利。（お札は釣銭が無くなれば使えない）

- （４） その他 ローソク、マッチ、懐中電灯、ラジオ、雨具、オムツなど家族に応じて用意する。
- （５） 携帯電話も役に立つ。（手動充電器が便利） 電気製品は必ず替えの電池も！

以上の物をリュックサックなどに詰めて、両手を使えるようにしておく。

台風 大雨などによる風水害

広島はデルタ地帯が多い

地下施設・地下室などは危険です浸水の危険がある時は早めに地上に避難する！

地下空間では、**外の様子**がわかりませんし、集中豪雨などで地上が冠水すると**一気に水が流れ込む危険**があります。**水圧でドアが開かなかったり停電などが発生**する可能性があるため、浸水の可能性がある時は**早めに地上に避難**しましょう！

台風が近づいたり雨足が強くなったら

テレビやラジオなどの情報に注意しましょう。

雨の強さや浸水の状況などをよく観察しましょう。

地盤の低い場所は水が集まりやすくなっています。

道路と同じような高さの商店街などは、入口に土のうを積むなど**浸水の予防**が必要です。地下室を設置する場合は、入口を**高くするか、防水扉を設置**する。

沿岸部では、台風接近時の**潮位、気圧、風雨**の影響で浸水の規模が非常に大きくなる場合があります。**気象情報に注意**して早目の対策をしましょう。

最寄りの**避難場所を確認**しておきましょう。

地下に浸水のおそれがある時は、**すぐに地下に居る人たちを安全な場所に誘導**しましょう。

地下に浸水した時や、**逃げ遅れのおそれがある時は119番通報**しましょう。

意外な落とし穴

道路の上のマンホール

雨の勢いによっては、マンホールの蓋が飛んでしまうこともあります。蓋が飛んだマンホールは**濁水で見えなくなり、転落の危険性**があります。

冠水した道路などを歩く時は傘などで探りながら注意しましょう。

道路と水路の境界

浸水によって**道路と水路の境界**がわからなくなっています。

蓋のない側溝や宅地との境界に開水路があったり、**晴天時では気にとめない場所**が浸水時には非常に**危険な場所**に変わります。

出来るだけ端のほうを歩くのは避けましょう。

工事中の道路や現場

このような所は、冠水時はもちろん雨が降ったあとでも注意しましょう。

思っていたよりも、**意外と深い**場合が多いのです。

台風や大雨、強風の時は正確な情報と早目の行動！！